2026年度　研究留学(HU-GRIP）による経済支援募集要項
【学生自薦型（展開力EU）】

１．背景・経緯

広島大学では，人材育成目標「平和を希求しチャレンジする国際的教養人」にもとづき，ステップアップ型の留学プログラムを実施しています。この段階的な留学プログラムの最上位に位置付ける「研究留学（以下，HU-GRIP）」として，イタリアのベニス大学への派遣学生（※）を募集します。

※今回の募集は、令和6年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業（EU）」において本学が採択された「日・欧州の海洋経済安全保障と持続可能性を支えるAI次世代人材育成プログラム」の一環として実施します。本プログラムは、欧州5大学（イタリアのベニス大学、オーストリアのグラーツ大学、スウェーデンの世界海事大学、スペインのバスク大学、ドイツのライプツィヒ大学）と連携し、AI技術を活用したデータ分析や予測技術を通じて、持続可能な海洋・海事の実現に貢献する「日・欧州の海洋経済安全保障と持続可能性を支えるAI次世代人材」の育成を目指すものです。今回は、連携大学の一つであるベニス大学への研究留学生を募集します。

HU-GRIPとは：本プログラムは，学生の専門領域や卒業・修了後のキャリアを見据えた高度専門人材の育成を目的とした研究留学プログラムです。本学が協定等を締結している海外の大学，研究機関及び国際機関へ本学の学部4年生（※）及び大学院生を16～60日間派遣し，専門領域や卒業・修了後の就職を見据えた調査・研究課題に派遣先の教員・担当者の指導のもと取り組みます。派遣終了後はその成果を学位論文の一部とするとともに，派遣先でのネットワーク形成を通じて，学生自身が卒業・修了後にグローバルに活躍できるキャリア形成のファーストステップとすることを目標としています。　（※学部４年生については、本学大学院進学予定者に限る）

２．派遣大学・募集人員

ベニス大学　1-2名程度

３．支援対象及び支援内容

（１）　現地での研究内容および派遣開始時期・期間

①対象プログラム名：大学の世界展開力強化事業「日・欧州の海洋経済安全保障と持続可能性を支えるAI次世代人材育成プログラム」
※海洋・海事、AI、コンピュータサイエンス、環境科学およびこれらに関連する分野の研究等

②　派遣時期・期間：2027年 2月～3月の間にプログラムを開始し、3月31日までに帰国すること。また、期間（実派遣日数）が 16日以上 60日以内であること。

（２）　対象学生・語学要件

以下のすべてに該当する者

①　本学における学業成績が優秀（※1）で、かつ人物も優れていると指導教員が認める者
②　本学に在籍する学部4年次生及び大学院生（正規生）で、派遣期間中、本学の正規生としての学籍を有する者。なお、学部4年次生については、本学大学院への進学予定者に限る。
③　留学先で研究を行う上で、十分な英語力を有する者
④　留学先への入国にあたり、必要な査証（ビザ）がある場合は、自身で確実に準備・申請できる者
⑤　研究・活動計画が明確であり、プログラム終了後、その成果等を指定の様式にまとめ提出できる者
⑥　プログラム終了後、広報活動に全面的に協力できる者

⑦ TOEIC680点相当以上が目安となるが，研究する分野において，コミュニケーションができる英語能力を有する者（英語で面接が行われる場合があります。）

※1 選考時において、前年度の成績評価係数が 3.00 満点中 2.30 以上であること。
ただし、成績評価係数で表すことができない場合は、別に定める様式に、当該学生が特に成績優秀であり、成績評価係数 2.30 相当以上であると判断する理由を推薦者が明記すること。

（３）支援内容

対象学生に以下のとおり支給します。（本学で選定された場合でも、現地大学での受入が認められなかった場合、支援対象外となります。）

① 往復航空運賃の一部：上限20万円
※日本国内の空港～現地大学近隣空港往復航空券を本学で手配（支払）する。上限を超えた部分は、本人負担。個人で航空券を手配（支払）した場合、支援対象外。

② 宿泊ホテル代の一部：上限20万円（予定）
※本学で手配（支払）する。上限を超えた部分は、本人負担。個人で宿泊先を手配（支払）した場合、支援対象外。

③ JASSO奨学金：9万円（月額）
※応募要件は最終頁の＜参考＞の通り。支給の最終判断はJASSOが行います。

（ア）選考時において、前年度の成績評価係数が 3.00 満点中 2.30 以上であること。

（イ）他の奨学金等との併給制限
本経済支援以外に、派遣プログラム参加のための奨学金等を受ける場合（渡航に係る費用および返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは除く）、当該奨学金等の支給月額（複数団体から受ける場合は合計月額）が月額9万円を超えない者。
なお、報酬を伴う研修やインターンシップ等に参加する場合も、奨学金と同様に、本支援による奨学金月額を超えなければ併給が可能。

（ウ）国籍・永住要件
日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者（特別永住者を含む）。

４．応募手続き及び応募締切

本プログラムへの応募を希望する場合は，応募書類を準備の上，11月24日（火）までに留学交流グループに持参もしくはEメールで提出してください。

５．応募書類

（１）派遣計画書・推薦書　※様式１
（２）英文の派遣計画書　※指導教員と相談の上，学生が作成
（３）英文の推薦書　※指導教員が作成
（４）英語能力を確認できる書類（語学能力試験の成績）
（５）本学の学業成績証明書　※派遣学生が準備

６．選考方法及び結果通知

応募書類に基づき，展開力EU事業実施部会で候補者を決定し，1-2週間で通知します。その後，受入校での審査を経て，1月初旬を目途に最終選考結果を通知予定です。

【重要】受入の決定については，受入先が最終的に決定します。受入先からオンライン面接が行われる場合もあります。

７．海外派遣に係る安全管理について

以下リンクの「海外渡航リスク管理」ページを熟読，実践すること。
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/risk-kanri.html

８．派遣終了後

（１） 派遣学生は，帰国後に成果発表を行うとともに，プログラム終了後 1 か月以内に成果報告書【様式２】を作成の上，指導教員へ提出すること。

（２） 指導教員は，学生の派遣先教員または担当者からの評価【様式３】を受け取った上で，上記（１）に基づく最終評価を行った内容を【様式３】に追記し，【様式２】と共に留学交流グループ（留学交流担当）に提出してください。

（３） 派遣学生は，学内外で開催される留学成果報告会等での発表，各種調査・アンケートへの回答，派遣先大学等からの留学生及び研究留学・海外インターンシップを希望する学生への支援並びに広報活動等に全面的に協力いただきます。なお，各種調査・アンケートにて回答いただいた結果は，今後のプログラム改善検討に活用する目的で，個人が特定されない形により使用させていただく場合があります。

９． その他

（１）応募書類の記載事項等に変更があった場合又は採用後，参加を取りやめるとなった場合は，速やかに留学交流グループ（留学交流担当）までお知らせください。

（２）採用決定後又は経済支援開始後に応募要件を満たさなくなった場合，採用の取消及び支援額の全額又一部の返還を求めることがあります。

１０． 問い合わせ先

担当： 学生プラザ 2 階　国際室国際部　留学交流グループ　臼井（展開力EU担当）
メール：kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp
TEL： 082-424-4551

＜参考：JASSO奨学金＞

1.応募要件

選考時において、前年度の成績評価係数が 3.00 満点中 2.30 以上であること。

2.他の奨学金等との併給制限

本経済支援以外に、派遣プログラム参加のための奨学金等を受ける場合（渡航に係る費用および返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは除く）、当該奨学金等の支給月額（複数団体から受ける場合は合計月額）が月額9万円を超えない者。

なお、報酬を伴う研修やインターンシップ等に参加する場合も、奨学金と同様に、本支援による奨学金月額を超えなければ併給が可能。

3.国籍・永住要件

日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者（特別永住者を含む）。

4.JASSO成績評価係数の算出方法

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し，計算式にあてはめて算出

（少数点第 3 位を四捨五入）

	成績評価				
本学の成績評価	S（秀） 90点以上	A（優） 80-89点以下）	B（良） 70-79 点以下	C（可） 60-69点以下	D（不可） 60点未満
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）　P＝ポイント

$$\frac{(「評価\ P3\ の単位数」\times 3)+(「評価\ P2\ の単位数」\times 2)+(「評価\ P1\ の単位数」\times 1)+(「評価\ P0\ の単位数」\times 0)}{総登録単位数}$$

※プログラム途中に正規の課程を卒業・修了する者は要件を満たしません。

※報酬を伴う研修やインターンシップ等を含むプログラムに参加する場合は，奨学金同様，支給月額が本支援による奨学金月額を超えなければ併給可能です。